【様式】

令和３年　月　　日

新型コロナウイルス感染症に係る特例措置（翌年度渡航）申請理由書

独立行政法人日本学術振興会理事長　殿

受 付 番 号

氏 名

私は下記の理由に基づき、新型コロナウイルス感染症に係る特例措置（翌年度渡航）を申請します。

なお下記の内容については相違ありません。

記

以下の（１）及び（２）を合わせてA4判相当2ページ以内で作成してください。

（1）本件特例措置の申請時点において、令和3年度内に渡航することが困難と判断する理由について、受入研究機関又は受入研究機関が所在する国・地域における新型コロナウイルスの影響を踏まえて記述してください。

*（記入例）2021年○月現在、○○○国における新型コロナウイルスの影響は……（感染状況の記載）であり、○○○（例：ロックダウン、外出制限等）の措置が取られ、○○月まで続く見込みである。(参考資料1)*

*それを受け、受入研究機関である○○○においても、○○○（例：オンラインによる授業かつキャンパス内立ち入り禁止等）という方針がとられている。(参考資料2)*

*（参考資料1）○○○国（受入研究機関の所在国・地域）政府が発信する新型コロナウイルスの影響に係る公式文書・通知*

*（参考資料2）受入研究機関○○○が発信する新型コロナウイルスの影響に係る公式文書・通知*

（2）上記（1）において記載した影響が若手研究者海外挑戦プログラム採用者としての研究の実施に与える影響について、受入研究者と相談した結果を踏まえて記述してください。

*（記入例）新型コロナウイルスの影響により、○○○（例：受入研究機関における研究施設への立入不可等）となっているため、○○○（例：実験機器が使用できない、資料の閲覧ができない）という状況となり、申請書に記載していた研究計画である○○○と○○○の実施が不可能となる。代替案としては○○○と○○○等も考えられるが、受入研究者とも相談した結果、当初の研究目的である○○○を達成するためには、○○○が必要となるとの結論に至ったので、研究計画通り○○○を実施することが必須である。*